

(議長)

次に、町長からの行政報告の申し出がありますので、これを許可いたします。
町長。

「町長」(行政報告)

最初に、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の進捗状況についてご報告申し上げます。医療従事者及び高齢者施設の接種は3月8日をもって終了いたしました。高齢者集団接種は2月21日から3月19日までの、全12日間の日程のうち11日間を終了しています。18歳から64歳の集団接種は3月16日から4月30日までの全10日の日程で開始いたします。3月中に接種可能となる対象者につきましてはすでに接種券を配布しておりまして、4月末までの対象者につきましては3月中旬以降に発送予定でございます。3月11日現在の接種状況でございますが、2月末時点で2回目接種から6か月を経過している対象者数は、5,169名で、医療従事者等を含む接種者数は2,968名で57.4%でございます。そのうち、高齢者の接種者数は2,398名、84.9%が接種を終えております。

次に、江差町文化会館移動観覧席改修に伴う消費税額の積算誤りにより、2月22日に追加補正を頂きました件について、原因及び経過をご報告申し上げます。今回の原因につきましては、事業費積算のために徴取した見積書が消費税抜きの見積金額になっていたことに気付かずに、補正予算要求金額に税抜きの金額を担当者が記載し、補正予算要求に伴う決裁においても同額の決裁が取り進められたものです。決裁段階では見積書も添付された決裁であり、担当者の消費税額見落としが発端ではありますが、その決裁に添付された見積書の内容の確認を担当者及び上司である担当課長も気付くことなく、財政課など関係課での決裁が進められたものであります。見積書の金額などは、原則として担当課内において内容のチェックを行うものであり、消費税の取り扱いを含め、担当課においてしっかりとチェックされたものが財政課の合議へと取り進められるものです。今回の事案を踏まえ、担当課における二重チェックの徹底をしてまいりますことはもちろんのこと、再発防止の一環として予算要求に伴う見積りにつきましては、消費税額を含む見積書の徴取を前提とし、また、決裁に係る起案文書には予算要求額と合わせて消費税抜きの金額をあえて併記するよう、課長会議において指示、周知を図ったところであり、あわせて、今後、財政課に提出する予算要求書の様式においても、消費税額の欄を新たに追加し、担当者が予算要求書への入力作業段階でミスを防ぐ様式に変更し、再発防止に努めてまいります。単純なミスとはいえ、二度にわたる補正を議決頂きましたことにお詫び申し上げますとともに、担当者並びに上司である担当課長には3月9日付けをもって嚴重注意処分を行いましたこととお伝えし、行政報告とさせていただきます。

次に、日本で最も美しい村連合5年目審査結果についてご報告申し上げます。
NPO法人日本で最も美しい村連合に加盟している自治体は、最も美しい村づくり

の基本理念が継承されているか、より美しい村づくりを目指して運動が定着しているかについて、5年ごとに連合の審査を受け、加盟継続の可否を受けることとなっております。江差町におきましても平成27年10月の連合加盟登録から5年を経過したことから、令和3年12月22日、23日の日程で、連合が指定する審査委員2名による現地審査が実施され、その審査内容をもとに連合内での資格審査委員会、理事会での協議を経まして、令和4年2月9日付けで審査通過の通知を受理いたしましたのでご報告申し上げます。本来、加盟から5年経過の審査年は令和2年度でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況から、1年遅れの令和3年度の審査となったものでございます。このたびの審査は通過となりましたが、連合の取組に対する住民理解度や地域資源の新たな魅力づくりという点においては、まだまだ多くの課題を残しているものと認識しておりますので、引き続き加盟自治体や地域住民との連携を密にし、より一層の取組強化に努めてまいりたいと考えております。以上、日本で最も美しい村連合5年目審査結果についてのご報告を申し上げます。

最後に、寄附採納についてご報告申し上げます。令和4年1月20日、愛知県名古屋市中区ヒダホールディングス株式会社代表取締役 小池 一三（こいけ かずみ）様より、現金1,000万円のご寄附がございました。ご寄附頂きました現金1,000万円につきましては、江差町かもめ島交流拠点づくり基金へ積み立て、北の江の島構想実現に向け活用させていただきます。

次に、令和4年2月2日、有限会社中川清掃社代表取締役 中川 一夫（なかがわ かずお）様より、役場来庁者及び職員の新型コロナウイルス感染予防のためにと消毒用物品現金20万円相当のご寄附がございました。ご寄附いただいた消毒用物品については、庁舎の消毒などに活用させていただいております。

次に、信金中央金庫理事長 柴田 弘之（しばた ひろゆき）様が創立70周年記念事業として創設した地方創生推進スキームSCBふるさと応援団に、道南うみ街信用金庫理事長 藤谷 直久（ふじや なおひさ）様の御推薦のもと、当町が申請しておりました豊かな前浜づくりプロジェクト（略称：ハマプロ）づくり・育てる漁業を核とした地域経済の好循環の実現を目指してが令和3年12月24日付けで採択され、本年2月24日、企業版ふるさと納税として1,000万円のご寄附がございました。3か年事業で計画する同プロジェクトによって、ナマコ増殖礁による資源増大事業とサケマス類の海面養殖事業の実証実験に取り組み、回遊性魚種の資源変動に左右されない当町に適した栽培養殖漁業を確立することで、人口減少少子高齢化のなかにあっても持続可能な産業基盤を整備すると共に、地産地消地産外商を進め、地域経済の好循環を目指してまいります。

最後に、令和4年2月25日、札幌市に事務所を置く生活協同組合コープさっぽろ理事長 大見 英明（おおみ ひであき）様より、新入学児童の交通安全への願いを込めて、交通安全ランドセルカバー20枚のご寄贈がありました。同組合の地域貢献活動は平成24年度から継続されており、交通安全の推進に一翼を担っている

ところであります。ご寄贈いただいたランドセルカバーは、入学式当日に配布を予定しております。

以上、ご寄附ご寄贈がありましたことをご報告申し上げますとともに、改めてご厚志に厚くお礼申し上げます。

(議長)

以上で、行政報告を終わります。